

今野 孝嶺 希望

天空の不夜城の大規模改修の必要性は

大規模改修の実施の判断は、在り方検討会から一定の方向性が示されることが前提となるべき。市として大規模改修の必要性についてどう考えるか。

答 天空の不夜城は運行から10年以上が経過し、灯籠の老朽化等様々な課題に直面しており、昨年度に在り方検討会を設置して、これら課題について協議している。大規模改修については、同検討会から担い手確保やイベント内容等の課題に対する方向性が示され、それを踏まえて、当面のイベント継続を見込める状況になることが前提と考えている。

テレビ閲覧板を導入する考えは

テレビ閲覧板は、テレビリモコンのdボタンを押すと、自治体が発信する情報を確認でき、防災行政無線の内容を発信している自治体もある。導入の考えはあるか。

答 テレビ閲覧板は、テレビのリモコン操作だけでなく誰でも簡単に素早く情報を入力できるものであることから、市政情報の発信や災害時には防災行政無線の補完として活用できるほか、イベントや特産品の情報発信等、市の魅力を伝えるシティープロモーションの推進にも資すると考えている。先進自治体の事例を参考に、導入について検討していきたい。

その他の質問事項

- ここも家庭センターの設置
○中学校部活動の地域移行

菊地 時子 日本共産党

難聴高齢者の補聴器購入費等を助成する考えは

加齢性難聴は鬱や認知症の危険因子になることが指摘されている。補聴器購入時には調整の仕方や聞こえの相談の対策が必要だ。難聴高齢者の購入費等を助成する考えは。

答 2022年の日本補聴器工業会による調査では、補聴器を所有していても使わない理由という項目で、煩わしいとの回答が62%、補聴器を使用しても元の聞こえに戻らないとの回答が61%であることが報告されている。補聴器を使用しても、その後使用しなくなる方が多いことから、助成の効果は限定的であるため、現時点で助成を行うことは考えていない。

平和を語り継ぐイベント

平和の誓いで本市の中学生が戦争が起きないよう過去の戦争に学ぶことが必要と述べた。戦争体験者も亡くなりつつある中、平和の大切さを子供たちへどう語り継ぐか問われる。小・中学校で原爆写真展を開催する考えは。

答 社会科では戦争に関わる学習が行われており、原爆についても学んでいる。教科書には、原爆を含めた戦争に関わる写真資料が掲載されており、戦争の悲惨さを視覚的に学ぶことになるが、あまりの悲惨さに大きなショックを受ける子供もいるため、原爆写真展の開催は、子供たちへの影響を考慮した上で、各校長の慎重な判断が必要と考えている。

その他の質問事項

- 能代七夕天空の不夜城の今後の在り方は
○有機農業の推進

菅原 隆文 希望

能代市市民栄誉章の追加選定の検討を

能代市の名を全国に広めた市民栄誉章受章者4名のうち2名が逝去された。目的の郷土意識の高揚を資するためにも、芸術、文化、学術、研究分野の方を含む受章者の追加選定を検討する時期ではないか。

答 市民栄誉章顕彰制度は、市民に夢と希望を与えるとともに、能代市の名を全国に広めた出身者等の栄誉をたたえ、もって市民の郷土意識の高揚に資することを目的としている。今後も引き続き情報収集に努め、その中で顕著な功績を上げられた本市出身者等がいる場合、随時、顕彰を行っていきたいと考えている。

二ツ井町の水道整備の事業化スケジュール

今年度水源地調査中の天神、種梅、切石、外面の4地区の調査が順調に進んだ場合、この水源を新たに求める地域と、既存の二ツ井荷上場水道の配水管を延伸する地域のそれぞれの事業化のスケジュールは。

答 簡易水道事業で整備予定の4地区及び上水道に隣接する荷上場字柳生、道上中坪、稗川原の3地区については、関係する水道組合等と協議を進め、今年度中に整備区域を決定したいと考えている。来年度は、関係条例等の改正、事業変更の届出及び経営認可申請を行い、その後、水道施設の実施設計や整備に着手したいと考えている。

その他の質問事項

- 愛称にここここ広場の活用と課題
○秋田キャラバンミュージックフェスの協力
○二ツ井地域の子ども園の統合と民間移管